

薬学部創設 50 周年 記念特別薬学講座

薬学部創設 50 周年を記念しまして、従来の薬学講座とは別に記念特別薬学講座を企画致しました。会場は国の有形文化財に登録され、兵庫県の景観形成重要建造物の指定も受けている、武庫川学院甲子園会館（旧甲子園ホテル）と致しました。内容も肺疾患に焦点をあて、充実し有意義な講座になるように準備を進めております。卒業生の多くの方の参加をお待ちしています。

“肺疾患の現況と展望”

日時：平成 24 年 9 月 30 日（日）10：00 ～ 17：15

場所：武庫川学院甲子園会館

（旧甲子園ホテル、
国登録有形文化財（文化庁）、
近代化産業遺産（経済産業省）

西宮市戸崎町 1-13



10：00 ～ 12：00 肺移植の黎明期・現況・展望

講師 三好新一郎 先生

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器・乳腺内分泌外科 教授

13：00 ～ 15：00 肺がんの診断と治療

講師 豊岡伸一 先生

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器・乳腺内分泌外科 講師

15：00 ～ 15：15 休憩

15：15 ～ 17：15 アスベストが引き起こす病気

講師 長谷川誠紀 先生

兵庫医科大学呼吸器外科 教授

募集：平成 24 年 8 月末〆切（応募者多数の場合は 250 名先着順）

本講座は日本薬剤師研修センター認定研修（1 日 4 単位）

参加費：無料

内容

肺移植の黎明期・ 現況・展望	<p>日本における脳死からの臓器移植は 1997 年に臓器移植法が制定されスタートした。しかし、臓器提供には本人の意志が書面で表示されていなければならない、臓器提供は 2008 年末の時点でわずか 76 件にすぎなかった。脳死肺移植もドナー不足の影響を受けて年間 5 例程度であった。このため日本では生体肺移植が発展し、生体肺移植数が脳死肺移植数を上回るという世界でも例を見ない状況が続いていた。2010 年に臓器移植法の一部が改正され、家族の同意があれば臓器提供が可能となった。これを受けて臓器提供が増加、脳死肺移植も年間約 40 例に増加した。</p> <p>臓器移植、特に肺移植については社会的にもあまり認知されていないが、末期的呼吸不全の患者さんを運動ができるまで回復させることができる治療法であることを理解していただきたいと思う。</p>
肺癌の診断と治療	<p>人口の高齢化に伴い肺癌患者数は増加の一途をたどり、年間死亡数は胃癌を抜き癌の中でトップとなった。肺癌はその多くが喫煙と関係しており、生活習慣病としても重要な疾患である。近年、肺癌の診断技術、治療法は飛躍的に進歩している。その現状に付いて紹介する。</p>
アスベストが 引き起こす病気	<p>アスベスト(石綿)は高い抗張力・柔軟性・耐火性・断熱性・吸音性・電気絶縁性・化学的安定性などの特徴を有し、広く産業界で使用されてきた。1960 年頃にはアスベストの暴露によって肺および胸膜に病気が発症することが報告されたが、我が国政府の対策は大きく出遅れた。厚労省は 2005 年になってやっと 2008 年までに使用の全面禁止の方針を決めた。今後、アスベスト吸入が原因とされる悪性胸膜中皮腫の罹患数、死亡数の増加が予測されている。阪神大震災による建物解体で石綿飛散が問題になったり、尼崎市のクボタ旧神崎周辺で中皮腫患者の発生が多い等、身近なところにこのテーマに関連する問題が発生している。</p>

参加申込先

武庫川女子大学薬学部 薬品物理化学研究室 谷本敏子

Fax: 0798-45-9950 (ダイヤルイン)

メール: tanimoto@mukogawa-u.ac.jp

参加申込書

氏名: _____ (旧姓) _____ 期

住所: _____

電話番号: _____ 携帯 _____

メールアドレス: _____